

 動物用医薬品 要指示医薬品 指定医薬品

# NB 生ワクチン (B<sub>1</sub>+H120G)

ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎生ワクチン(シード)

3,000羽分 / バイアル

●主剤

発育鶏卵培養弱毒ニューカッスル病ウイルスB<sub>1</sub>株(シード) 3,000羽分中 10<sup>9.0</sup>EID<sub>50</sub>以上

発育鶏卵培養弱毒鶏伝染性気管支炎ウイルスH120G株(シード) 3,000羽分中 10<sup>6.5</sup>EID<sub>50</sub>以上

●用法及び用量

- ・飲水投与(1日齢以上の鶏)
- ・点眼・点鼻接種(1日齢以上の鶏)

●効果または効能

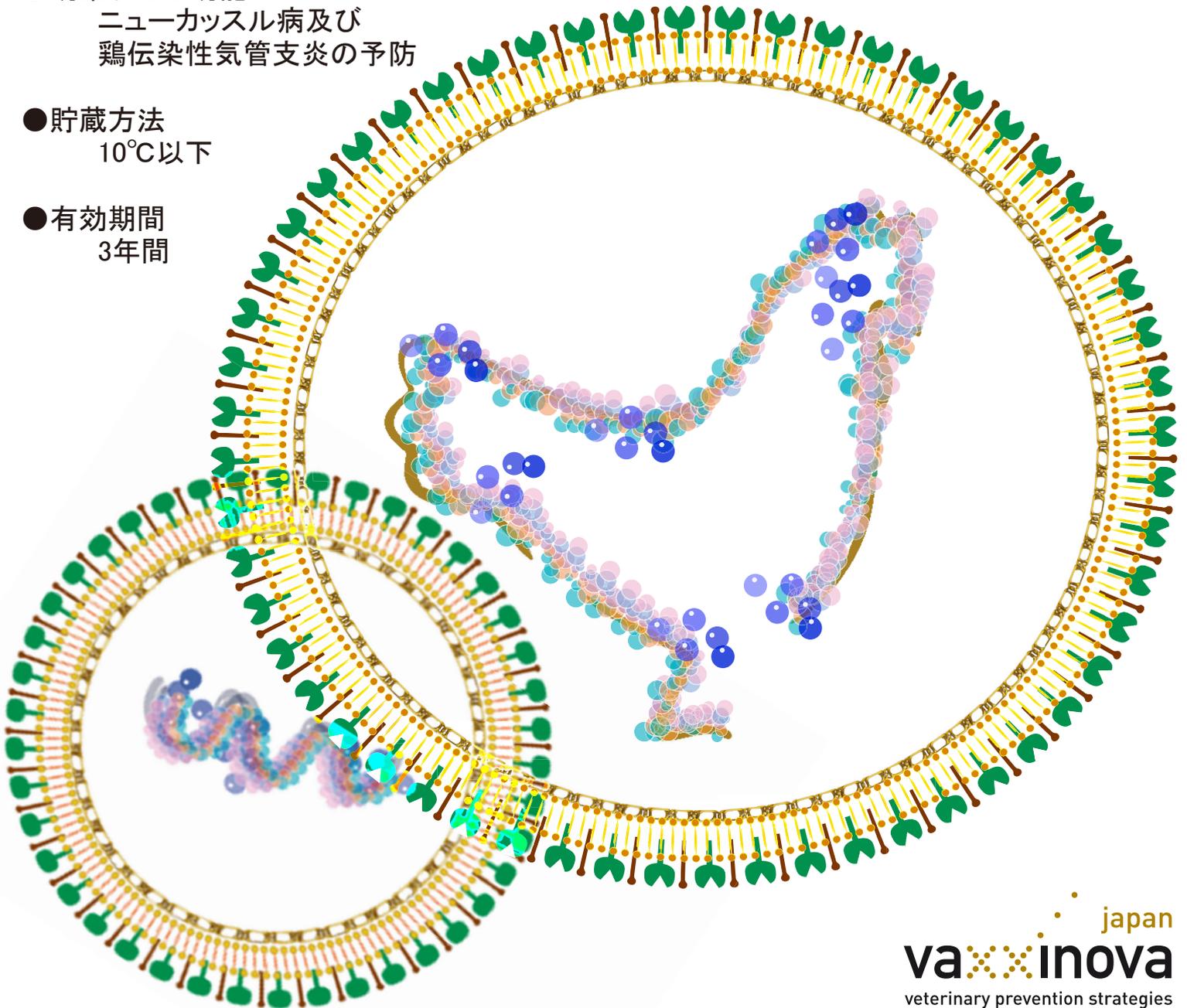
ニューカッスル病及び  
鶏伝染性気管支炎の予防

●貯蔵方法

10℃以下

●有効期間

3年間



# NB 生ワクチン (B<sub>1</sub>+H120G)

ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎生ワクチン(シード) 3,000羽分/バイアル

本製品は要指示医薬品です。獣医師の処方箋・指示に従ってお使いください。  
ご使用の際には本製品の添付文書をよくお読みください。



## ●家畜伝染病としてのニューカッスル病\*

★鶏、あひる、うずらに発生した、病原性が高いニューカッスル病(ND)で、原因となる病原体が次の1または2に当てはまる\*場合をいいます。

1. 鶏初生ひな脳内接種試験の結果がICPI<sup>†</sup>が0.7以上
2. F蛋白開裂部位のアミノ酸残基が次の①及び②いずれにも該当\*
  - ①113~116番目のうち3つ以上がアルギニンまたはリジンと推定
  - ②117番目がフェニルアラニンと推定

\*家畜伝染病予防法第二条  
\*家畜伝染病予防法施行規則第一条二  
\*脳内接種試験による病原性の高さの指数

※全身にあるタンパク分解酵素で容易に開裂  
→全身感染の高病原性ウイルスとなる。

★NDウイルスは、鳥パラミクソウイルス\*に属します。野外株、ワクチン株すべて血清型は1です。そのため現在のところ、適切なワクチン接種で防御が可能とされています。

\*鳥パラミクソウイルスの血清型は2021年時点で1~21型

★2011年以降\*国内では「病原性が高いニューカッスル病」の発生はありません。しかし海外では散発しています。NDウイルスは鳥排泄物から、物品、人(靴、服など)を經由し容易に伝播するためウイルスが国内に侵入している可能性は否定できません。ND発生の予防のため、引きつづき衛生管理対策とワクチン接種が必要です。

表 ニューカッスル発生状況 (World Organisation for Animal Health)

西暦→	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23
米国														1					
中・南米	1	1	2	3	6	7	6	1			2				4		2	1	
ロシア															7	5	5	2	
アフリカ	1						1		1	3		1	1						
オセアニア							1		1										
英国	1	1																	
西欧	3	1		1	2	3							1	1					1
北欧	3	1	2	2	1		2			2		1	1	1			1	3	1
東欧/東南欧	2	2	2	1	2			2	2			3	3	2	1	3			1
中欧					1		1	1					1						2
南欧/南東欧	7	2	5	2	2			3	1	1	2	2	2	1	1				1
中東	7	2			2	5	1	2	3										
アジア*		3			1	1			1		1			1	2				
日本	2	1	1	1		1													

\*日本を含まない

## ●干渉作用

IB\*ワクチンとNDワクチンを同時に接種すると、干渉作用により互いのワクチン効果が抑制される恐れがあります。しかし「NB生ワクチン (B<sub>1</sub>+H120G)」は、この点も考慮の上開発されているため問題はありません。

\*: 鶏伝染性気管支炎

お問い合わせは弊社まで

## ワクチノーバ株式会社

〒東京都港区浜松町1丁目24-8

TEL 03-6895-3715 FAX 03-6895-3711

<https://www.vaxxinova.co.jp> Mail [contact@vaxxinova.co.jp](mailto:contact@vaxxinova.co.jp)

製造販売

**va: : inova**  
veterinary prevention strategies

japan